



やまがた

**山形村が大好き** 大塚 麻由さん(下大池)

セブンイレブン信州山形店でアルバイトに励む大学1年生の麻由さん。今年の3月から週3日のシフトで働いて、今では接客にも慣れ、複雑なレジカウンター業務もてきぱきとこなす。

生まれも育ちも山形村で「お客様の中には声をかけてくれる知り合いもいて楽しい。山形村が大好き。できれば将来は長野県の企業で働きたいです」と麻由さん。

地元が好きで、地元で楽しく暮らす。そんな若者が増えることこそが「地域創生」の鍵ではないだろうか。

(12月5日 セブンイレブン信州山形店にて)

働く姿
シリーズ

告知板

◆リーダーバンク
新規登録者募集

ご自分の得意分野の知識や技術を広く村民に伝えてみませんか？

村民の学びを支え、学習要望に応じていくため、新規リーダーを募集します。

【申込み】 1月23日(金)まで

【申込先】 山形村教育委員会(98-3155)へ

◆年末年始の休館情報

トレーニングセンター、ミラ・フード館、ふれあいドーム、テニスコートの年末年始の休館についてお知らせします。

休館日 12月29日(月)～1月3日(土)

◆図書館の休館情報

山形村図書館の休館についてお知らせします。

休館日 12月28日(日)～1月3日(土)

トレーニングセンターの休館とは異なりますのでご注意ください。

持久走大会



11月18日(火)、小学校で持久走大会が行われました。冷たい風が吹く中、1年生から6年生までが、日ごろの練習の成果を発揮しようとして懸命に走りました。それぞれの目標に向かって頑張る姿に、多くの保護者の方も声援を送っていました。

焼イモ会



11月13日(木)、この時期としては冷たい風の中、山形保育園で焼イモ会が行われました。子どもたちは、先生から配られたホカホカの焼イモを口いっぱい頬張りうれしそうに食べていました。

芝生運動広場使い始め式



12月8日(月)、6月から整備を進めていた小学校屋外運動広場の芝生化工事が完了し、使い始め式が行われました。この事業は、子どもたちの身近にある学校の屋外環境を、さまざまな体験活動の場として活用し、たくましく心豊かな子どもたちを育成することを目指して行われました。これにより、体全体で地面と触れ合うことができ、子どもたちの情操感情の育成や体力向上に効果が期待できます。この日の使い始め式は、前日までの雪の影響で、芝生広場ではなく、小学校体育館で行われました。この芝は松本市の総合球技場アルウィンと同じ種類の天然芝で1年を通じてきれいな緑です。小林行雄教育委員長からは「青空の下で学年を超えて楽しく過ごし、心豊かに強くたくましく育ってほしい」とあいさつがありました。青空のもと、緑の芝の上で遊ぶ子どもたちの姿を早く見たいものです。

整備面積	1424・40㎡
工事内容	芝生化工事・給水工事・散水設備工事・倉庫建設工事
総事業費	14,364,000円

山すそ

師走という月はその響きだけでも気ぜわしさが募る。そんな時こそ夜空を見上げてふっと息を吐いてみる▼静寂な天はかすかな輝きを散りばめている。肉眼では見えないけれど、今月初旬に打ち上げられた「はやぶさ2」は、小惑星を目指して飛行中だ。この秋、人間を脅かした熊は星座に姿を変えたのだろうか。宇宙開発も、神話から見たてられた星座も果てしない夢やロマンを駆り立てる▼この村に住む人々も一つ一つの星のようで、取材時に出会うとその人自身からそれぞれの輝きを感じる。館報もまた、人という点と点がつながって形づくられる星座のようなものなのかもしれない。でき事も情報も人を通して生まれているから。となれば、部員は探査機ということか▼今年の8月、700号を迎えた館報がさらに旅路を進めるためにも、皆様には取材に快く応じていただけますようにと、星に祈ってみる。



熊に食べ尽くされ、枝も折られた柿

2014年

本当に今年は 多かった...



今年の秋、村内では熊の出没が相次ぎました。捕殺や目撃情報は全県的に多く、毎日のように報道されました。村でも9月から11月の間に51件の目撃情報が寄せられ、11頭が捕殺されました。このうち3頭は集落内に出没し、緊急捕殺されたものでした。中には150kgを超す大型の成獣もいて、長年鳥獣駆除に協力している猟友会員からも「こんなに大きいのは見たことがない」と驚きの声が聞かれました。

9月27日に人への被害が発生したこと、村では朝夕の通学時間帯にあわせたパトロールを9月29日〜11月20日まで実施し、教育委員会では全児童552人にカウベルを配るなど子どもたちへの安全対策をとりました。

朝日村では山と生活エリアとの境に防護柵を張ることで鳥獣の進入を防いだり、今井地区では熊の進入路となる鎖川沿いの葦の刈払いを行うなどの取り組みがされています。

自然豊かな山形村で熊と共生していくためには、今年の各地の取り組みを教訓に、熊を近づけない環境をつくることも大切な点ではないでしょうか。



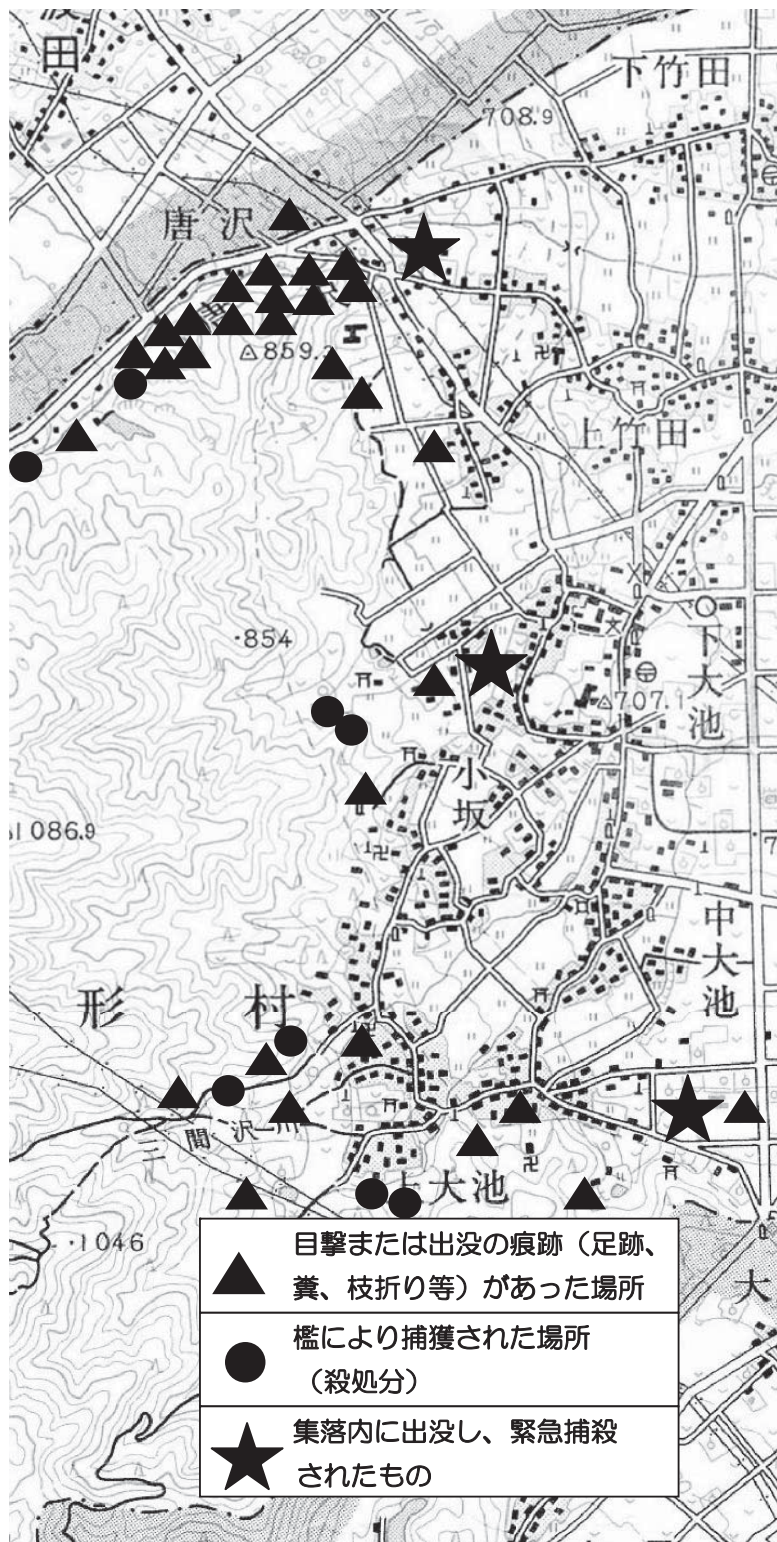
捕殺された150kgを超す成獣

自然豊かな山形村で熊と共生していくためには、今年の各地の取り組みを教訓に、熊を近づけない環境をつくることも大切な点ではないでしょうか。

市町村別の捕殺頭数

山形村	朝日村	安曇野市	塩尻市	松本市
11	2	52	15	101

26・11・30現在





ありました 今年を振り返って

今年も残すところわずか。大雪に集中豪雨、御嶽山の噴火など、自然の脅威を改めて感じる年でした。我が山形村は開村140周年の節目で、館報やまがたも記念の70号を発刊。松本山雅のJ1昇格という、うれしい話題もありました。みなさんにとっては、どんな年でしたか？それぞれの1年を振り返っていただきました。

今年の悟り



藤沢 啓太
(中大池)

『できるわけねーじゃん!!』ワイナリー建設について手付け始めた頃、分館社会部長の役が回って来た。とても二つの事はできないが、「どうしても」と玄関から一歩も引かずに押し切られた。

申し訳ないが、社会部の方は適当にやればいいわと自分でも思ったが、これが違った。ワイナリーのさまざまな書類を作成するが、どうしても行き詰る。そんな時、社会部のバスハイイクのパンフ作りを試してみた。『楽しい』時のたつのを忘れパンフを一気に仕上げ、ワイナリーの難解な書類に取り組む。あら不思議、行き詰っていたところからスラスラと進むじゃないか。ふとバランスを考えた、一つの事に集中するのも大切だが、バランスが片寄る。二つの重荷が双方あるくらいが、丁度いいのではないだろうか？以来分館活動にも力が入り何とか両立できている。50歳を過ぎ、今年の悟り『バランス』。

大きな節目となった一年



小平 祐輝
(上大池)

私にとってこの一年は大きな節目を迎える年となりました。

希望していた地元企業へと就職が決まり、学生から社会人一年生となり日々勉強しています。夏には新人ながらも課の一員として、一ヶ月近く及ぶ長期出張を経験しました。まだ右も左もわからない中、多くの人と関わりながらひとつの目標を達成していくことに、学生時代よりもより一層チームワークの大切さと働くことの大変さを実感し学ぶことができました。

また、村の消防団にもお誘いを受け、入団させていただきました。小型ポンプ操法の大会に上大池分団が出場とのことで入団から三ヶ月の間、仕事が終わると詰所に集合し、ポンプ操法の練習をしてきました。地元の先輩とも交流が深くなり、有意義な体験が生まれました。これからも社会の一員として頑張っていきたいと思えます。

たくさんの木と共に



小林 弘和
(下大池)

今年自分にとって、新たな一歩を踏み出す一年となりました。昨年まで勤めていた車関係の仕事を辞め、家業の造園業を継ぐために転職しました。転職を受け入れてくれた両親には、とても感謝しています。以前、2年少々家業を手伝っていた時期があり、全くゼロからはなかったのですが、そんな経験はひと握りに過ぎず、学ぶことはまだまだ山積みです。木ひとつひとつでもすぐたくさん種類があり、たとえ同じ種類の木でも、形・大きさ・葉の感じ等々全く同じものはないんだと実感しました。木は生き物であり、人間と同じく成長し続けていくものです。今年が妻が仕事に復帰し、娘は保育園に入園したこともあり、家族にとっても新たな一歩を踏み出した年でした。そんな木や家族と共に、自分自身の技術・感受性・人間性も少しずつ成長させて、芯の強い人になりたいと心振り返った一年でした。

思いおこせばこの一年



柳澤なつ美
(中大池)

今年一年をふり返ったら、いろんな思い出が詰まった年でした。それは、運動会の短距離走で一位になったこと、音楽会ではアコーディオンを初めてやったこと、委員長になったこと、毎日がんばった金管バンドの練習、ずっと前から楽しみだった修学旅行。こんなたくさんの思い出がありました。そんな中でも一番心に残っているのは「クラスのみんなど先生」といつしよに過ごした時間です。なぜなら、このクラスのみんなと過ごすのは、これで最後だからです。そんなクラスのみんなと山形小学校でこれから過ごす三ヶ月間は、一日一日を大切に過ごしていって、もつといっぱいの思い出を作っていきたいです。たくさんの思い出が詰まった小学校生活の思い出は、絶対忘れません！クラスのみんなと先生、お父さんとお母さん、本当にありがとう!! 山形小学校の思い出は、私の大切な一生の宝物です。



人口	8,779人
男	4,347人
女	4,432人
世帯数	2,888世帯
出生数	54人
死亡数	83人
転入数	275人
転出数	303人

(役場11月末現在)

負傷者	23人
死亡者	1人

(松本警察署 11月末現在)

火災	6件
救急	205件
救助	1件
その他	29件

(松本広域消防局 11月末現在)

よろしく願いしまあ



百瀬 悦子 (下竹田)

山形村で育った夫と結婚して40年。正月やお盆に訪れたり、田畑の面倒を見るために月に一〜二度通ったりしていましたが、昨年ようやく移り住むことができました。

山形村は市町村合併の嵐の中でも村として存続し、訪れる度に活気が増してきています。い村だなぁと思っていました。図らずも娘や孫と暮らすことになってみると、学校や保育所の教育環境も整って子育てしやすいことにも気がきました。中大池交差点辺りから見ると西側山麓沿いに建ち並ぶ家々に光があたり美しい光景を見る度に、新しい山形村を感じます。

今年も地区の催しや文化祭にも参加させてもらいました。中でもワインの会では普段口にできない高級ワインを試飲させてもらったり、疑問に思っていた事を教えてもらいました。サッカー好きな私にとってサッカー場が近くにあり山雅のJ1昇格も印象的です。

来年も、山から立ち上る雲の刻々と変わる形と色の美しさに魅了されながら、ばあちゃん業と草退治に明け暮れる一年になりそうです。

少年野球に夢中



倉沢めぐみ (小坂)

この一年は、山形キヨミズの保護者会長として突っ走り、今は、少し抜け殻状態のようです(笑)

少年野球に「どっぷり」ハマり、時間の許す限り寄り添っていたせいか、私はキヨミズの子ども達がとてもいいです。子どもが必死に白球を追う姿は、本当に感動です。試合のひとつひとつを思い出しても、心がとても熱くなります。ヒットを打ったら打ったで大興奮。野球は必ず打席が巡ってくるので、誰でもヒーローになれるチャンスがあるのも魅力です。

息子が生まれた時から、一緒に野球がやれたかった主人と、それを応援したかった私。子どもが、この小学生のいい時期に、親子で一生懸命野球に取り組めたことは、私たち

の財産になりました。最後にこの一年、応援してくださった地域の皆さん、本当にありがとうございます。

挑戦の年



小野 貴義 (上竹田)

今年、じいちゃんの葬式から始まりました。九十歳の大大生でしたが、突然のことです。そして、新しいことに挑戦した年でした。石を積む試験、石積み検定を受験しました。この検定は、8個の石を時間内に決められた寸法どおりにきれいに積む試験で電動工具は使用禁止。石を割るげんこのうやのみ、せつとうなどの基本道具のみで石を加工し、積み上げる試験です。今、昔ながらの道具で石を加工することがないのでとても苦労しました。結果は、国家試験なのでそんなに甘いものではなく不合格。おかげで俄然やる気が湧いてきて来年こそは!!という気持ちでいっぱいです。

そして、長年思い続けていた夢が叶い、行きたいと思っていた所へ行くことができました。

今年も楽しみだなあ。

2月	関東甲信地方で2週連続の大雪
4月	ソチ五輪開催 日本メダルは金1銀4銅3
6月	消費税8%スタート
8月	富岡製糸場 世界文化遺産に決定
9月	サッカーW杯開催
10月	広島県北部の土砂災害で多数の犠牲者
11月	全米テニスで錦織圭選手が準優勝
12月	御嶽山噴火 戦後最悪の火山災害
	安倍首相が消費税引き上げ先送りを表明
	衆議院解散
	衆議院総選挙
	『ゲームよ、ゲーム』
	『集团的自衛権』
	『集団的自衛権』
	『アナと雪の女王』
	『妖怪ウォッチ』
	『今年の漢字』

山岳写真真寄贈

山岳写真をこよなく愛し、写真展へも出展されてきた小坂在住の山口今朝二さんから、トレーニングセンターに山岳写真3点が寄贈されました。この3点は冬の山岳を題材にしたもので、凛と張りつめた空気の中に自然の厳しさを、



霧氷の田代池



朝焼けの北アルプス

美しき、雄大さなどが見事に映し出されています。山口さんによると、「この山の、このタイミングで、朝日がこう差し込んできて」など緻密な計算と計画から撮影されるもので、風向きや急な天候の変化

などにより、山頂付近まで登っても撮影できないこともあるそうです。そんな中から生まれた貴重な作品は、トレーニングセンター2階の大ホールにつながる廊下に展示してあります。ぜひご覧ください。



夕暮れの槍ヶ岳

福祉のつどい

12月13日(土)、山形村社会福祉協議会主催・山形村福祉のつどいが開催されました。

会場となった、いちいの里ダイルムでは岩手県物産展や日赤奉仕団によるバザーなどが開催され来場者で賑わいました。式典では、ピアやまがた音楽クラブボランティア

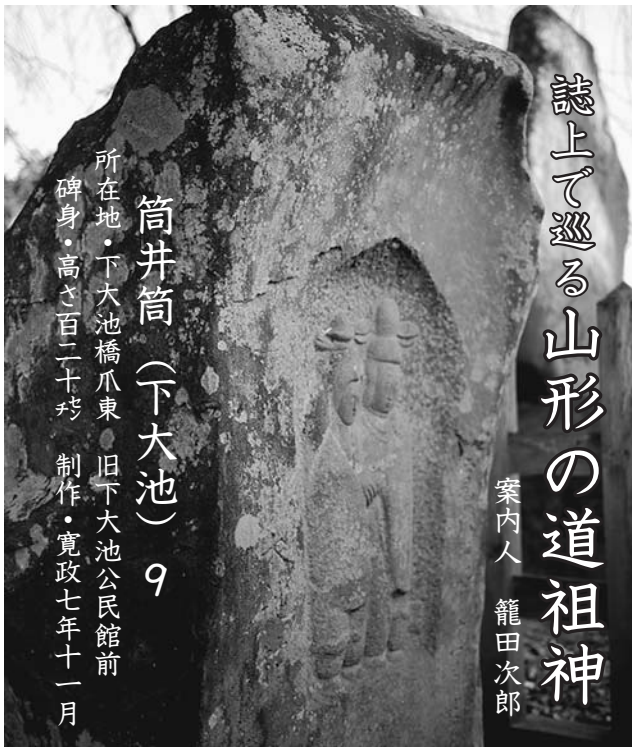


売切れ続出。物産展



楽しみながら理解できた寸劇

の会と傷痍軍人会山形支部関係者への社会福祉協議会会長表彰がおこなわれました。その後、認知症の方への介護・接し方についての体験談や、職員による寸劇がおこなわれ、認知症介護に対する心構えや理解を深める良い機会となりました。



誌上で巡る山形の道祖神

案内人 籠田次郎

筒井筒(下大池) 9

所在地・下大池橋爪東・旧下大池公民館前
碑身・高さ百二十坪 制作・寛政七年十一月

三叉路の右にまず目に入るのが大きな句碑、その左側に子どもの背丈ほどの石が立ち周囲に柵がめぐらされています。これが外国にまで知られた道祖神像です。

昭和37年、早稲田大学フルブライト研究教授、E. マイケル・チャヤ氏が来村し、その際この道祖神の拓本を取り自国に持ち帰りました。その頃の村は道祖神そのものが知られていなかった時代で、その後昭和40年代に山形小学校長として太田義一氏が赴任され、他数人の先生方と山形小学校石造文化財調査クラブを

作り、村内のおよそ800体にもぼる石造石仏を隈なく細かく調査し、分布図や写真に解説文を付け昭和47年3月、冊子に集めて発行しました。その時から道祖神に呼称をつけて呼ぶようになったのです。

「筒井筒」は舟後光型で中央から右に男神、左に女神が立ち、一方の手は胸の前で結ばれ、もう一方の手はお互いの肩にのせ、女神の手は男神の肩に強くかけられており、つぶらな瞳に鼻筋が通った顔立ちからは、若々しく恥じらいの表情が見て取れます。桜の咲く時期は天下一品です。



(敬称略)

おめでた(子・親)

- 太田沙由奈(一男) 裕子 下大池
- 増塩こころ(勝美) 理沙 小坂
- 横水 智晴(武晴) 郁美 下竹田
- 高山 洗保(69歳) 下竹田
- 上條きよ江(98歳) 中大池
- 中村 松子(87歳) 上大池

おくやみ



教育関係功労者表彰を授与される逢澤佳丸さん

12月4日(木)、農業者トレーニングセンターにて、山形村公民館大会が分館役員を中心に約70人の参加のもと開催されました。

山形村公民館大会



中大池に生まれた「絆」を話す上條竜司体育部長

大会の冒頭、長年教育関係の分野で尽力され、現在も山形村文化財保護委員会委員

川柳入選作品

公民館主催の講座から自主活動されている「川柳あららぎ」の中から、第55回松本市芸術文化祭において入選した作品の紹介をします。

☆老農夫草と戯れ汗流す 中村一博	☆エルニーニョ成果狂わす収穫祭 村井 稔	☆狂う雨ノアの箱舟造りおき 上條民雄	☆叱られた孫の不満をじじが聞く 本庄利昭
---------------------	-------------------------	-----------------------	-------------------------

松本平タウン情報賞
よらこびも
つどいから
なごやかに
たたえよう
におやかに
ゆかしさも
つどいから
美しい
くみとろう
安らかに
たのしさも
ひととき
そだてよう



館報の歴史を発表する百瀬悟編集部長

「21年ぶりの快挙達成」と題した村民運動会での分館の取り組みを笑いを交えながら発表しました。続いて、百瀬悟編集部長から「館報70号発行で思うこと」と題し、「館報やまがた」の歴史や70号の製作秘話などの発表がありました。

ご存知ですか？

自由の朝(公民館の歌)

- 一、平和の春に あたらしく 郷土を興す よろこびも 公民館の つどいから とけあう心 なごやかに 自由の朝を たたえよう
- 二、心の花の におやかに 郷土にひらく ゆかしさも 公民館の つどいから 希望を胸に 美しい 文化の泉 くみとろう
- 三、働くものの 安らかに 郷土に生きる たのしさも 公民館の つどいから まどいになごむ ひととき 明日への力 そだてよう

みんなの人権 59

「いい湯だな」風呂場のユニバーサルデザイン

～「シャンプー」と人権～



「優の風景」
「ババンババンバンバン
ババンババンバンバン
いい湯だな 冷たく
な 冷たくな ハハハン ここは信州 山形の湯月」

木枯らし吹く時期になると、いつにも増してお風呂が恋しくなります。「身体も温まったところで、髪の毛を洗うか。」「今夜は、シャワーがやけに目にしみるなあ。」「というわけで、手探りでシャンプーを探します。」「ギザギザ」がついている容器とついでにないのとのあるな？どちらがシャンプーだったかな？」さて、洗髪の際には、ほとんどの人が目を閉じます。おかげさまで、この容器についている「ギザギザ」は、目が不自由な人のバリアフリーに役立っているばかりでなく、誰にでも役に立つ便利な「ユニバーサルデザイン」です。

私たちの身の回りには、このようなユニバーサルデザインを意識した商品が、たくさんありますね。携帯電話の「5」の数字ボタンには、小さな突起が。パソコンのキーボードなどにも触って分かる突起の付いたキーボードが。さらには「お札(紙幣)」にも、金種別の凸凹。まだまだありました。冷蔵庫を開ければ牛乳パックのきりこみ、缶ビールのふたの点字、…。そういうえば、先日処方してもらった目薬も、上下差のあるビニール袋に入っていて、かさかさ乾燥した指先でもすぐ開けて便利だなあ。

世は、「超高齢社会」。様々な障がいのある人に便利な商品は、高齢者にも便利なもの。「公助・共助・自助」の時代に、行政や企業の「公共の場のバリアフリー化」は急務。それに加えて、お互いの「自助」の工夫も求められる時代。そんな時、身の回りのユニバーサルデザインは、上手に利用すれば、私たちの住みやすい生活を支援してくれる強力な味方。今晩、家族全員で、身の回りのユニバーサルデザインを発見する「優の風景」探しをしてみませんか。

(M・H H 26・12月記)



姉弟でつなく 絆のたすき

菅沼 ^ま真衣^いさん
^な直^{ひろ}紘^{ひろ}さん
(上竹田)



絆

KIZUNA

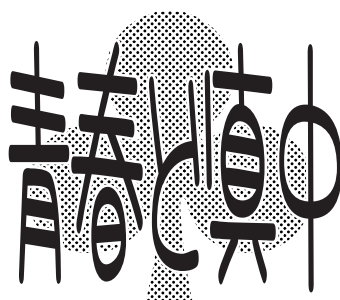
「練習を頑張つて来年の中学総
体で納得のいく結果を出してほ
しい。陸上を通して出会う人と
のつながりを大切にして」とエ
ールを送り、直紘君は「走るこ
とをやめても陸上に関わってい
くと思うので勉強と両立させて
頑張つて」と返します。釋と一
緒に渡された陸上への思いは、
これからも姉と弟をつなぐ絆と
なることでしょう。

小学生の時、友達に誘われて
出場した大会がきっかけとなつ
て陸上を始めた真衣さんと、そ
の真衣さんに勧められて陸上部
に入学した直紘君。今回の釋リ
レーでさらに姉と弟の距離が縮
まりました。縦断駅伝を最後に
競技を引退した真衣さんは弟に
「練習を頑張つて来年の中学総
体で納得のいく結果を出してほ
しい。陸上を通して出会う人と
のつながりを大切にして」とエ
ールを送り、直紘君は「走るこ
とをやめても陸上に関わってい
くと思うので勉強と両立させて
頑張つて」と返します。釋と一
緒に渡された陸上への思いは、
これからも姉と弟をつなぐ絆と
なることでしょう。

11月に行われた長野県縦断駅
伝、塩尻東筑木曾チームの菅沼
真衣さん・直紘君が姉弟で釋を
つなぎました。真衣さんは高校
3年生。得意の上り坂が多いコ
ースを「絶対にやってみよう」と
いう強い気持ちで走りきり、好
タイムで直紘君につなぎました。
受け取った鉢盛中2年生の直紘
君は、「姉が意外と速く走って
きてくれたので気持ち的に楽に
走れた。初出場で少し緊張した
けれど、いい経験になった」と
言います。

上條 莉菜^{りな}さん

中大池
いて座



百瀬 浩樹^{こうじ}さん

下竹田
おうし座



お鍋が
食べたい！



目指すは
プロボウラー？

大学の管理栄養学科で勉強
中の莉菜さん。人生設計はま
だできていないけれど、食べ
ることは生きていく限り必要
なことなので、食に関わるこ
とを勉強したいと思い、進路
を選択しました。高校時代は
バドミントン部に所属し、そ
の時一緒に頑張った仲間たち
は今でも大切な友人です。一
人暮らしを始めて家族のあり
がたみを知ったと語る莉菜さ
ん。会うと喧嘩になるけれど、
心の中ではいつも家族に感謝
しているそうです。
「お母さん、帰省した時には
鍋が食べたいです！」

J R 東日本で車両メンテナ
ンスに携わる浩樹さん。小さ
い頃から電車が大好きで、自
分に夢を与えてくれたJRに
就職して今度は自分が多くの
子どもたちに電車を通じて夢
を与えられるようになりたい
と語ります。日々の生活の中
でさまざまなことに責任感を
しっかり持ちたいという浩樹
さんを、友人は「いちばん立派
に社会人してる」と評します。
目指すは車両メンテナンスの
プロそして運転士です。さら
に趣味のボウリングでもプロ
を目指している浩樹さんから
一言「皆様JR東日本のご利用
をよろしくお願いします！」